

- 座談会2・3面
- インタビュー 3面
- 協働花づくり事業4面

2012年 8月11日(土) ガーデニング特別号

広報いちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。

花が見つめる 笑顔とふれあい ガーデニング・シティ いちかわ

いつもの通りを一本曲がるだけで、今まで気づかなかったまちの素颜に出会うことがあります。

「ガーデニング・シティ いちかわ」の取り組みとして春に開催されたオープンガーデンでは、大切に育てられた庭の花を多くの来場者が観賞しました。観光地のはでやかさとは異なる、日常生活を過ごすまちの魅力を、一層感じられたのではないのでしょうか。各会場では、花の話題に会話が弾

み、交流の輪がまさに花開きました。交流の輪は、種から育てた花を市内へ広げる「協働花づくり事業」(4面参照)でも生まれてきています。

人と人が出会い、会話を交わすその脇で、可愛い花がそっと寄り添っているまち。市川市は、そんな素敵なまちを目指します。

☎704-0003ガーデニング課



「ガーデニング・シティ いちかわ」とは

「住んでいて良かった」「また訪れたい」「将来住んでみたい」と考える市川市を目指し、花があふれる綺麗な街並みを、市民の自主的な活動と行政の協働で広げる取り組みです。

※写真は春のオープンガーデン時に撮影

オープンガーデン参加者と大久保市長による座談会を開催

来場者との交流やガーデニングの魅力を語りこ

春のオープンガーデンが5月19日から27日まで、市内11カ所で開催されました。来場者数は、初めて実施した昨年の延べ500人から大幅に増加し、延べ約4,200人を数えました。また今回は、園芸・ハーブ専門店のアイキャンガーデンで音楽教室のサウンドビュローによるオープンガーデンコンサートも開催されるなど、趣向を凝らした催しとなりました。

7月5日、オープンガーデンで庭を開放された参加者が東山魁夷記念館に集い、大久保市長との座談会が開催されました。市長を含めみなさんが、来場者との交流の様子やガーデニングへの思いを共有しました。



市長の魅力発信
大久保 博市長…みなさんがそれぞれ独自の発想で取り組まれた庭を拝見させていただきました。

「ガーデニング・シティいちかわ」の目標は、住み続けたいまち、住んでみたいまちだ。市川市を市民や市外の方へ広げていっていただくこと。行政は道路や駅前などの公共施設に花を植栽し、市民のみなさんには自宅に花を植えていただくことで、市川市の魅力を高めていきたいと思います。

ガーデニングを通じた市民の輪が広がることで、生きがいづくりなど、心の健康に寄与することも期待しています。

終了後も続く交流



加藤 妙子さん(北方位住)…期間中、多くの方に見に来ていただきました。庭を前にして、「今度庭を作るけど、どうやっていいの」と聞かれたので、自分の経験をお話ししたり、逆に色々と教えていただいたり、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。今も時々見に行ったりする方もいて嬉しい限りです。これからは近所にもお声かけをしていこうと思っています。

一番の魅力は癒し



小川 純さん(真間在住)…ガーデニングの第一の魅力は、花や土をいじると仕事のことを忘れられることです。花の色の組み合わせや小物の配置を考えるのは楽しいです。うまく花が咲いたときはとても充実感があります。それと、オープンガーデンに参加して、人との出会いは楽しいことだと改めて感じました。家内と協力して、いろいろなお客さんをもてなしながら、花にまつわる楽しいおしゃべりをして充実した時間を過ごしました。

地域の学校から出る給食の残飯などを活用した堆肥作りなど、エコとガーデニングの癒しを



館内で行われた座談会の様子

合わせる、地域の運動として広がるのではないのでしょうか。

集合住宅でもみんなでガーデニング



若本 博志さん(塩浜在住)…自分たちが住むハイツ前田第1住居に、6年前「花クラブ」を作り、団地内の花壇に花を植えています。現在の会員は60人ほどで、花壇ごとに担当を決めています。オープンガーデンに参加することで、会員同士のまとまりがさらに強くなりました。ひとつのことをやりきったという感じが大きかったのではないのでしょうか。

四街道の大きな団地にお住まいの方もいらっしゃる、私たちの活動にとても感心を持っていただき、したので活動が市外に広がることも期待をしています。

花がもたらす笑顔と会話



大嶋 桂さん(八幡サウンドビュロー)…音楽教室の「サウンドビュロー」を営んでいて、入り口などを花で飾っています。花を眺めながら小さなお子さんやお母さんが「三三三、きれいだね」と会話をされているのを見ると、花の力はすごいなと改めて思います。

花と音楽のコラボレーション



佐藤 春徳さん(下貝塚アイキャンガーデン)…戸建はもちろん、マンションでも鉢植えや寄せ植えなどで花を楽しめるので、一人でも多くの方に花を植えてほしいと思っています。オープンガーデン参加にあたっては、花をタイミングよくお見せできることも心配でした。幸いに天候の後押しがあり、バラもちょうどよい時期に花を咲かせ、春先の花もなんとかお見せできました。今回はじめて、サウンドビュローさんに演奏していただきましたが、ホールの中と違い、外で聴く音楽もまたよいなと思いました。

地域住民の活動の場

山藤 勝巳さん(若宮在住)…中山の奥の院から中山三丁目児童遊園地までの道路に面した地域で、私たち有志の住民が、「花の道クラブ」を作って活動しています。児童遊園地に花を植えながら、賛同してくれた方のお宅では、道路から見ると鉢植えを置いてもらうことで、道路全体を花で飾るようにしています。この道を利用する方に心の癒しを提供できればと考えています。



対応しきれないほどの来場者
永井 宣子さん(菅野在住)…オープンガーデンでは、来場者との花の交換などの交流があり、自分一人では作れなかった、人

や地域とのつながりの輪が広がったことはとても良かったと思います。新聞でも取り上げられたせいか、初日は150人近くの来場者がありました。期間中は私一人でしたので、来場者への対応が不十分だったのではないかと心配しています。例えば、ボランティアのお手伝いがあれば、もっと丁寧な接客やアンケートを取ったりもできたのではないのでしょうか。

引越後も残る思い出



池西 礼子さん(須和田在住)…私ほもとオープンガーデンが好きで、10年ほど前から一人でオープンガーデンをしていました。近くの幼稚園に通うお子さんやお母さんに見てもらっていました。そうしたら、市がオープンガーデンを企画してくれたので、真先に飛びつきました。

多くの方に来ていただきまして、みなさんにはノートに感想を書いていただきました。今でもそれを読み返すと嬉しさがこみあげてきます。市川から引越してしまいましたが、お分けした花が元気に咲いてくれば嬉しいなと思っています。



新たに花壇が整備された東山魁夷記念館にて



安心・安全の住みよいまち
小川 有利子さん(真間在住)…ガーデニングとともにイリミネーションも長年やっていますが、綺麗

と精神状態が良くなり、犯罪も減るのではないかと、常々思っていました。まちなかに花が増えることで、市川市が安全で住みよくなることを願っています。

インタビュー 介護の現場における花の存在とは



菊地 寛之さん

通所介護サービス「ファミリーケア市川新田さくら物語」を運営されている菊地寛之さんに、介護現場でのガーデニングにまつわるお話を伺いました。

ガーデニングに取り組まれたきっかけを教えてください

昨年11月頃に玄関先に寄せ植えを置いたのが最初でした。利用者の「綺麗だね」の一言から、庭でのガーデニングへと広がっていきました。素人ながら、試行錯誤を繰り返し、地元の方にも花のあふれるオープンな施設と思ってもらえることを目指しています。庭では、どなたでも自由に参加できるアコーディオン演奏会を月に一回開催しています。

そうすると、おじいちゃんやおばあちゃんの様子はどうですかと聞いてもらえるようになるなど、介護に関心のなかった方が花を介して私たちの施設に立ち寄ってくれるようになりました。花が持っている発信力には驚かされています。

秋のオープンガーデンでの抱負をお聞かせください

春以上に交流をテーマにしたオープンガーデンを目指していきますので、みなさんぜひいらしてください。



色とりどりの花が利用者を楽しませる



(住所: 新田3-26-12)

利用者への効果はいかがですか

認知症を患っている利用者が、自分の名前や思いを記した鉢に植えられた花の成長を見ることで、言葉を発したり、会話が生まれてきています。さらには、言葉を発しなくても、花に関する昔の記憶が呼び起こされることもあるようで、若い頃の記憶の再生は、認知症の予防や進行抑制につながると思われます。

また、花がいっぱいあるということで、引きこもりがちになる認知症の方にとっては外出するきっかけにもなっているようです。

それ以外ではいかがですか

近所の方々から、花や挿し木の提供を受けるようになりました。

育てる楽しさ 配る喜び 協働花づくり事業

花作りの楽しさを一人でも多くの方に知っていただくのが協働花づくり事業です。

種から花を育て鑑賞する楽しみに加え、育てた花の一部をご近所や知り合いに配るのもよし、または公共施設に提供いただくのもよしの取り組みです。市民や学生、保育園の園児・親子などが花を通じた交流の輪を広げています。



種まきから開花までの育成ポイントを学びました。

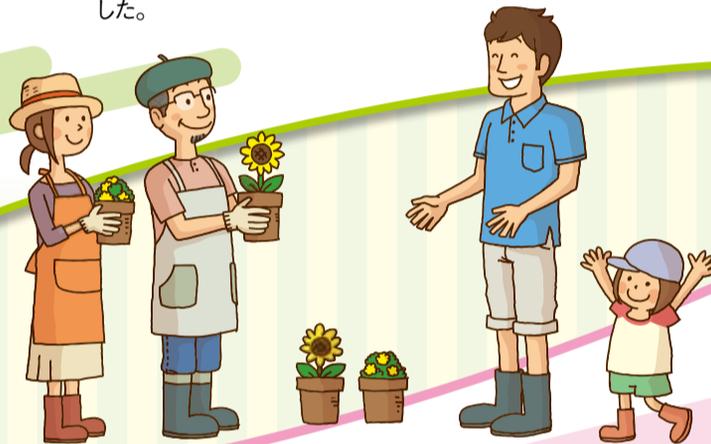


和洋女子大学では「ガーデニングわよう 学内花いっぱい運動」としてスタート。花壇作りにもチャレンジしました。



南八幡メンタルサポートセンターでは利用者の中からガーデニング部が発足しました。

愛情こめて 育てます



育てた花が 市内に広がります



みなさんが育てた花苗が集まりました。これから各施設に配られます。



国分にある「松香園」で、いただいた花苗の定植を行いました。



新田保育園では、園内で育てた花苗が子ども達に配られました。

協働花づくり事業(秋の部)参加者募集

「協働花づくり事業(秋の部)」の参加者を募集します。完成した花苗の一部は公共施設用に提供していただきます。

講習会 日 9月8日(土)午前 **場** 文化会館

配布物品 種(パンジー)及び育成に必要なとされる資材(用土、育苗プレートほか)

参加人数 先着100人

申し込み 往復はがきに「協働花づくり」・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・返信用のあて先を書き、8月20日(月)まで(消印有効)にガーデニング課(〒272-8501※住所不要)。なお、講習会の詳細は返信時のはがきでお知らせします。

フォーカス

市役所本庁舎前のサフィニアが見頃です

市役所本庁舎前のサフィニアをご覧になりましたか。これは、サントリーフラワーズ株式会社から提供を受けたもので、花苗の植え込み作業はガーデニングサポーター有志のみなさんが行いました。秋まで私たちの目を楽しませてくれるサフィニアの世話は、市職員や「チャレンジドオフィスいちかわ」のスタッフが行っています。見る人に元気をもたらすサフィニアに目を留めてみてください。

※「チャレンジドオフィスいちかわ」のスタッフは、知的・精神に障害を持ちながらも、一般企業での就労を目指し、市の非常勤職員として働いています。

